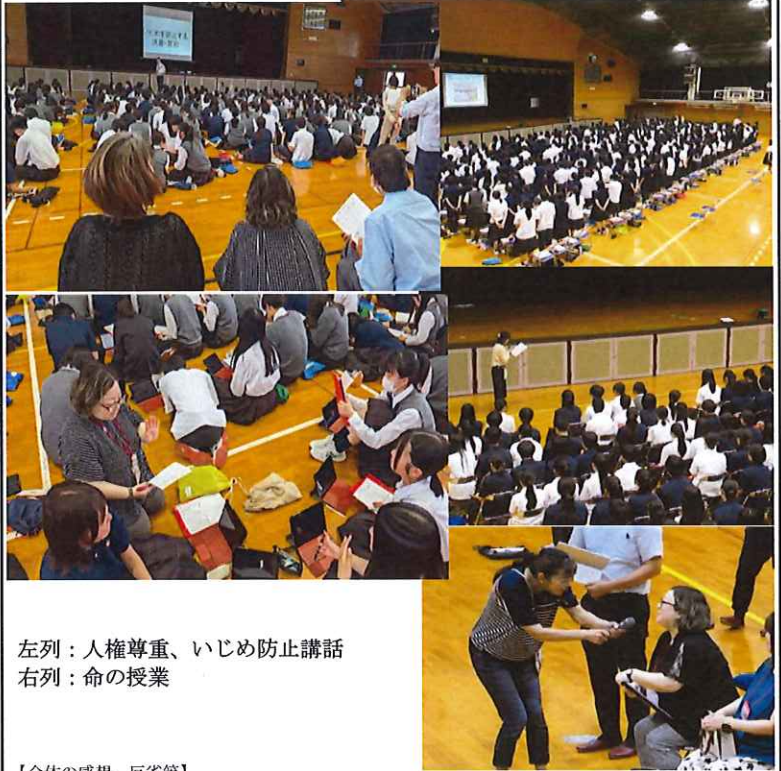


PTA活動紹介		高P連受付番号	2
PTA(学校)名	愛知県立岡崎商業高等学校		部門No. 1
活動テーマ	つながる学び ～高校生と家庭をつなぐ講話と対話～		
キーワード	研修会	共に学ぶ	いまの高校生を知る
開催日	学校行事の講話等に合わせて随時、実施		
場所	本校体育館		
時間	学校行事の時間に合わせて実施		
参加者	職員、(対象学年の)生徒、PTA役員、委員		
趣 旨	学校行事として行っている各種講話にPTAも一緒に参加し、講話を聞いたり、グループワークに参加したりして、現在の高校生がどのようなことを学び、感じているのかを知る機会とする。高校生の身近な話題や問題点について、意見交換したり、聞けたりすることで家庭での共通の話題創出に資することをねらいとする。		
活動ポイント	年に複数回実施することで、仕事などの都合がつく日に参加しやすようにしている。また、学校で生徒が学んでいることを保護者が知ることで、家庭でのコミュニケーション増加の一助となっている。		
主体委員会名・講師名等	生徒支援委員会		
<p>【今年度の実施内容、感想等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重、いじめ防止講話(5月29日木曜日に実施) 高校生がそれぞれの事象についてグループワークを中心に話し合いを行っていた。PTAも一部のグループに入り、高校生がどのように感じているのかを聞くことができた。また、意見を聞いている中でも、SNSやインターネットの使用方法をきっかけとするトラブルが多いということがわかった。対面している時と同様に考えて言葉を使用していると、発信側の意図しない受け取り方になり、すれ違いが起こりやすかった。頻繁に使用するツールだからこそ注意するポイントを理解し、上手に活用できるよう家庭でも子どもと一緒に考えていきたい。 ・薬物乱用防止講話(6月26日木曜日に実施) 違法薬物の呼び名や形状などが常に変化していること、インターネットを経由した流通経路など、子どもたちの行動範囲に関係なく、身近に近づいてきていることを感じた。また、不特定多数の人物とかわかる機会がインターネット等で可能になり、言葉巧みに子どもたちを誘惑してくる事実を再認識した。これからは家庭や学校、地域がより一層連携しながら子どもたちを見守っていく環境を作っていくことが重要だと感じた。 ・命の授業(7月3日木曜日に実施) ドナー提供を受けた方を講師に招いての講話であった。免許証や健康保険証などにもドナー提供の意思表示が載っており、ドナーについて目にするにはあったが、家族と話したことがあまりなかったことに気がついた。 実際に提供を受けた方やそのご家族、提供される方とご家族の気持ちなどを講師の方からお話いただき、提供の意思表示を紙に書いてあっても、残された家族は話したことがなければ迷ってしまったり、本当に良かったのかなど心に残ってしまうことがあると聞き、いつ何があるかわからないので、家族で話し合う機会を作り、家族全体で命を守る、つなぐことを話していきたくと思った。 ・生と性の健康(2月2日月曜日に実施予定) 			

つながる学び

～高校生と家庭をつなぐ講話と対話～

【活動風景】



左列：人権尊重、いじめ防止講話
右列：命の授業

【全体の感想、反省等】
この活動を通して、子どもを取り巻く環境は10年、20年前と変化していることを実感した。高校生と対話する中で、価値観や周囲とのコミュニケーションの取り方にも違いを感じた。現在の高校生が学んでいる内容は、親世代の時と変化しているところもあり、子どもの考え方もそれに合わせて変化していることを改めて感じた。また、子どもを取り巻く環境の変化や直面する問題などを知る機会ができてよかった。共通の話題にもなるので家庭でもコミュニケーションをとるきっかけとなった。
今年度の実施回数は4回(予定を含む)でしたが、学校と連携を取りながら実施できる回数や、参加人数を増やしていきたい。また、参加できなかった保護者の方へ情報共有できる手段を検討し、より多くの保護者の方に子どもたちの学校での様子や考え方、講話で得られた情報を共有していきたい。